



# 世知原小学校だより №21

世知原を愛し、みんなと共に、たくましく生きる子どもを育成する  
令和7年9月17日 文責:校長 泉 清一

## 5年生が宿泊体験学習を頑張りました！

9月11日(木)～12日(金)、5年生が、世知原少年自然の家で宿泊体験学習を行いました。

9月11日(木)は、午前中にまずテントを張りました。グループのみんなと協力してなんとか張ることができました。

昼からは、世知原少年自然の家の開所50周年記念式典に参加しました。桑原 結愛さんと石川 詩実さんが代表して、世知原少年自然の家の思い出を発表しました。とても上手でした。

そして、カレーライス作りをしました。事前に家庭科で野菜の切り方を学習していたので、とても手際よく切っていました。みんなと協力して作ったカレーライスは、最高でした。

肝試しでは、みんなで「キャー、キャー」と叫びながら楽しみました。また、テントでの寝泊まりは、意外と快適でした。

9月12日(金)は、沢登りをしました。2日前の大雨で、沢の水が深く、そして冷たかったですが、土管のあるゴールまで無事にたどり着けました。

とても楽しい2日間でした。



沢登り

### ◎ 5年生の感想

- 食器の後片付けで、丁寧に皿を洗い、一発で合格したので嬉しかったです。
- ナイトウォークで、みんなが怖がっていたけど、無事にゴールできて嬉しかったです。
- 沢登りでは、ゴール前で、みんなが応援してくれたので嬉しかったです。



裏面もごらんください



## 117万人が利用 これからもたくさんの思い出を

開所して今年で50周年を迎える佐世保市世知原町の県立世知原少年自然の家で11日、記念式典があり、関係者ら約40人が節目を祝った。

同施設は、人間性の育成や生涯学習の拠点として1975年12月に開所。自然の家としては県内で唯一、沢登り体験ができるなど豊かな自然の中での学びが魅力で、これまでに約117万人が利用した。現在、施設内での宿泊はできないものの、8月にキャンプサイトの炊飯棟を改修し、シャワー室も完成。テント泊によるキャンプが快適に楽しめるようになった。

式典には、宿泊体験学習で訪れていた市立世知原小の5年生15人も出席。同施設の山田秀人所長が「自然を生かした生涯学習の拠点として充実を図り、利用者の多様なニーズに応えていきたい」とあいさつした。

毎年、春の遠足が楽しみという同校の桑原結愛さん(10)は「自然があふれるこの場所が大好き。たくさんの人の思い出をつくり続けてほしい」と語った。

同施設については、県教委が2021年3月末までに閉所する考えを示したが、県北の学校関係者や地元住民からの要望を受けて撤回。24年4月から日帰り施設として運営している。県教委は「今のところ、閉所を望む声は上がっていない。今後も日帰り施設として継続していく」と話した。(林田友広)

9月13日：長崎新聞記事

## 柔道や空手で頑張りました！

○北松浦ロータリークラブ杯 第50回県北地区少年柔道大会 優勝  
6年生：前田 匠蔵・金井田 大翔・楠本 心実

○笹川杯争奪第12回全九州少年少女空手道選手権大会（県予選会）  
組手の部 小学4年生女子 第三位 金子 涼椰

※11月に行われる全九州少年少女空手道選手権大会に出場します！